

山梨県立美術館「ミレー館」に 当社製LEDを搭載した照明器具を寄贈

シチズン電子株式会社（本社：山梨県富士吉田市、社長：郷田 義弘）は、地域貢献事業の一環として、山梨県立美術館（甲府市貢川1-4-27）の「ミレー館」に、当社製LEDパッケージ「CITILED Vividカラーシリーズ」を搭載した照明器具を寄贈いたします。

「CITILED Vividカラーシリーズ」は、彩度を高めたことで、その物が持つ本来の色をより鮮やかに見せることを実現したLEDです。同時に明暗のコントラストも向上するため、より細かなディテールの表現も可能になりました。これにより、絵画本来の色彩や質感、筆づかいなどが忠実に再現できるので、美術館の展示照明として最適な光源となっています。

その他にもLEDは、赤外線・紫外線をほとんど含まないことから展示物の色あせなどの劣化や、害虫が寄り付くことが無いなど、文化財保護の観点でも優れております。また有害物質である水銀も含まないため、環境にも優しい製品となっております。

今後もシチズン電子では光を通して社会に貢献してまいります。

— 記 —

場 所：山梨県立美術館「ミレー館」（甲府市貢川1-4-27）

寄贈台数：53台

稼働日：2017年3月14日より

【当社製LEDパッケージを搭載した照明器具について】

<特長>

- ・高彩色（対象物を色鮮やかに照射）
- ・高演色（本来の色を忠実に再現）
- ・省エネ（白熱球と比較し消費電力90%削減・CO2排出量の85%削減）
- ・長寿命（メンテナンス作業の軽減 白熱灯と比較し40倍以上）
- ・水銀レス

【山梨県立美術館について】

1978開館。「種をまく人」や「落ち穂拾い、夏」を始めとするミレー作品を多数収蔵。2009年にはミレーを中心とするバルビゾン派の作品を展示するミレー館がオープン。

現在では「ミレーの美術館」として日本国内だけではなく、世界的にも知られている。



本件についてのお問い合わせ、ご取材については下記までお願いします。

シチズン電子株式会社

経営企画部 企画広報課

電話：0555-22-9901(直)